

山行NO NO. 1770
日時 2018.01.07(日) 強風・快晴・中温
山域 ハツ・横岳(2829m) 杣添尾根
コース 海ノ口登山口発8:35-森林限界10:40-三叉峰(さんじゃほう)上11:36-横岳
11:53-登山口14:00
標高差 登山口約1750m~横岳2892m=約1142m
参加者 GT, KH

冬山登山、50周年記念登山

私が初めて上った冬山は、1968年年末の甲斐駒ヶ岳。20歳だった。
その時、甲斐駒=摩利支天壁・独標ルート、水晶沢、仙丈岳(当時は、「ヶ」が入らなかった)を上った。
今年は、それから丁度「50年」。50年で数々の山を上って来た。

http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/page006-3.html

記録は、上記に詳しいが、いずれ纏めよう。

ちなみに昨年は、甲斐駒ヶ岳・登頂50周年だった。

海ノ口駐車場から出発。

風が強く梢がゴゴゴと唸っていた。



このところ好天が続いたようで、年末年始のトレースは残っていた。
雪が多く歩き易いので、アイゼンを使用しないでグングン上る。
森林限界の手前で二名抜かした。一名の方は、7時半に出発したと言った。

大分、へばっていた。

テン泊した方が、3名が下って来た。上は風が強いとの情報。

ここで我々もアイゼンを装着し、ヤッケを羽織った。

左手に赤岳が見事。いつ見ても素晴らしい景観。



赤岳



杉添尾根分岐（三叉峰）

小ピークを越えたところで、ストックからピッケルに変えた。

右手からモーレツな風が吹く。時々、持って行かれる。

風が強い分、雪が飛ばされ少なかった。

三叉峰の上りに掛かった。雪が少なく、ガジガジの氷だが、昨年より上り易かった。

上り切ると、縦走者が多かった。三連休で多くの登山者が入っているようだ。

八ヶ岳は、冬もほどほどの山で、その存在は有難い。



横岳手前の鉄梯子



横岳頂上

登山口から、約3時間。イイペースだった。

相方が盛んに空腹を訴えるので、小休止し少し補給。

横岳まで時間は掛からなかった。11時53分着。

登山口から、標高差約1142mを3時間18分。歴代でサイコーの時間だった。

下でユックリしたいので、すぐ踵を返した。

大同心の頭にクライマーが2名いた。

かつては、私も冬の大同心を登攀したことがある。1969年のことだ。

三叉峰に戻ると、森林限界で抜かした、「へばり君」が上って来た。

頂上に行くか止めるか、三叉峰の下りに自信が無いのか、「連れて行って下さあい」と懇願された。

しかし、「大丈夫だから、頑張って」と励まし分れた。

今日、事故の報道はないから、大丈夫だっただろう。

眼下にもう一人下っていた。追いついたら、やはり森林限界で抜いた、もう一人の若者だった。

疲れ切って、三叉峰で下って来たと言った。だが、相当悔しがっていた。



いつもの素晴らしい景観

グングン下り、森林限界下のテン場跡で昼食。
ここでも今朝、7時半に出た男女に追いついた。
梅酒のお湯割りが超超サイコー。カップラーメンが実に実に美味かった。



雪は多くなかった



カップラーメンは、嫌いでない

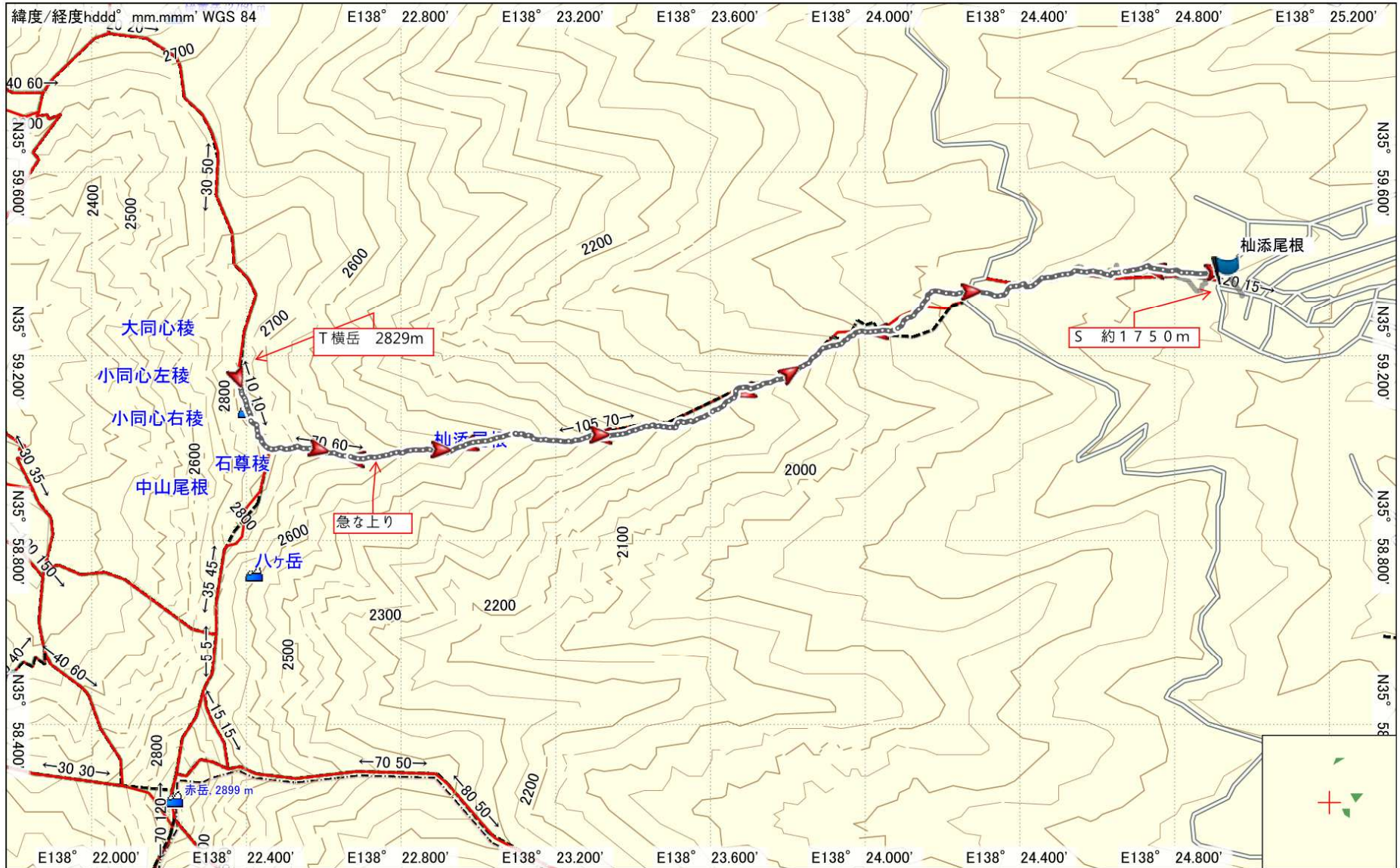
昼食後もガンガン下る。先に下った、先ほどの男女も抜かし、結局、6時半に出た群馬氏以外、今日の登山者全員を抜かしたことになる。

今回、何故絶好調だったか理由は分かっていた。
私は来年、6回目の年男だ。
年齢を重ねたら、山行は、それなりの工夫が必要だろう。
年末の甲斐駒は駒津峰で撤退。残念な結果だっただけに、今回の登頂は率直に嬉しかった。
さあ、今年も張り切って行こう！！

(了)



杉添尾根（写真は昨年のも



Japan Topo 10M Plus V3
 CarvialMaple Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1995-2014

2018/01/08 6:18:50

GARMIN